

令和6年度（2024年度）社会教育士フォローアップ研修（社会教育実践型研修会）

趣 旨

受託者：北海道教育委員会

社会教育主事講習受講済の方を対象としてフォローアップ研修を実施し、継続的な学習の機会を確保するとともに、地域における社会教育人材のネットワークの構築を目指す。

日程・内容

第1回

令和6年8月30日（金）オンライン

実践発表を通して、社会教育人材の役割を確認するとともに、課題解決に向けた取組のイメージを持つ。

【課題意識】

※事前アンケートより
（社会教育主事）
連携事業の際、双方の合意を引き出すことが難しい。
（社会教育士）
職種の違いを人同士を結びつけることが難しい。

社会教育士との連携の可能性について

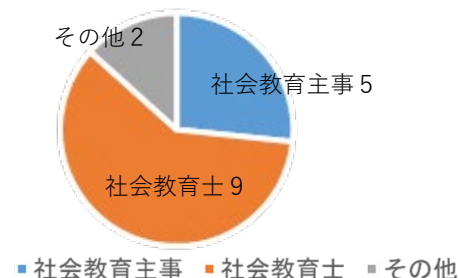
・幅広い職業の方々社会教育についての見識を深め、今日の社会における課題に対して「社会教育的視点」を持って協働して取り組むことができる。
・同じ視点、見解に基づいて解決に向けた方策を検討できる環境は、これからの社会教育にとって非常に大きな存在になると考える。

↑北海道社会教育主事会協議会
白川会長（社会教育主事）による事例発表



↑NPO法人ezorockコーディネーター
水谷氏による事例発表（社会教育士）

参加者の属性（16名）



第2回

令和6年9月13日（金）厚真町

厚真町見学や取組説明を通して、地域課題を把握・設定するとともに社会教育人材が連携して実施をする課題解決に向けた方策について考える。



第3回

令和6年10月4日（金）札幌市

社会教育人材が連携して実施する事業を企画・提案する。



成果と今後に向けて

【成果】

・現地で活躍している社会教育人材の取組を直接聞いたり、現地を実際に見学することにより、「人づくり・繋がりがづくり・地域づくり」につながる具体的な取組をイメージし、企画することができていた。
・在住地域の近い方同士を意図的に同じグループにするとともに、参加者それぞれが考え行動する時間を確保するプログラム構成としたことで、参加者同士の仲間意識が芽生えており、事業後も継続的にネットワークを活かした取組の展開が期待できる。

【今後に向けて】

「福祉」「防災」「多文化共生」など、トピックを変えて実施することで、多様な社会教育人材が参加することができ、様々な分野での社会教育人材のネットワークの構築に繋がると考える。



北海道における社会教育人材の継続的な学習機会の確保について

参考



- 全科目オンライン実施（一部オンデマンド配信）
- A日程：令和6年7月4日（木）～8月28日（水） ※平日実施
- B日程：令和6年10月26日（土）～令和7年1月19日（日）※土日祝を基本として実施
- 受講者定員：各日程125名（運営委員会で決定する。）
〔令和6年度修了者数 A日程：47名〕

社会教育主事講習

全6回

①社会教育入門講座

- オンライン実施・一部オンデマンド配信
- 社会教育主事講習のプレ研修という位置付け。
- 全ての社会教育人材に必要な内容

「オンラインによる学び」と
「対面による学び」の組み合わせ

全3回

全3回

②社会教育上級研修会

- 対面型実施・一部オンデマンド配信
- 社会教育経験者のフォローアップ研修という位置付け。
- 主に社会教育主事向けの内容

③社会教育士フォローアップ研修（社会教育実践型研修会）

- オンライン実施・対面型実施
 - 社会教育主事講習のフォローアップ研修という位置付け。
 - 主に社会教育士向け
 - 全3回連続研修
- | | |
|-------|--|
| 〔第1回〕 | （オンライン実施）オリエンテーション：社会教育主事・社会教育士の役割について |
| 〔第2回〕 | （対面型実施）スタディ・ツアーなどの現地訪問学習、社会教育士同士の交流 |
| 〔第3回〕 | （対面型実施）レポート作成：話し合い、振り返り |

社会教育主事講習を受講しやすい環境の整備
継続的な学習機会の確保

- ・ 社会教育人材の資質・能力の更なる向上
- ・ 社会教育人材の多様な場での活躍促進